

指導のねらい

自分の考えを広げたり深めたりするために、文章全体の展開や筆者の考えをノートに整理したり、複数の本や文章を効果的に読んだりすることができるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

- B ③ 一 説明文の冒頭部分を読んで、書き方の工夫として適切な内容を選択する。 正答率56.3%
- B ③ 二 筆者の考えを自分の言葉で書き換えたり要約したりして書く。
- (1) 「知識五〇点、行動五〇点」 正答率62.8%
- (2) 「もうワンランク上のむずかしい点」 正答率51.1%

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

- イ 目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。
- エ 書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。
- オ 必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。

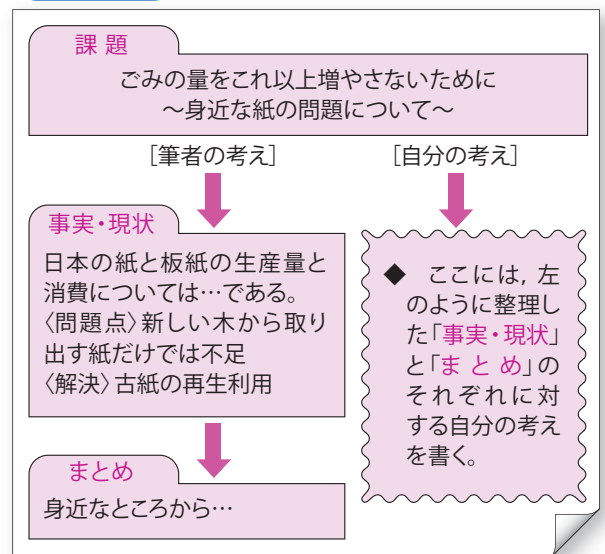
授業アイデア例

例1

本の内容や筆者の意図を簡潔に押さえ、ノートに整理する

- 目的や課題を設定し、関係のある本や文章を探して読む。
(例：平成19年度全国学力・学習状況調査 国語B ② 新聞記事を書く〈環境問題〉)
- 本や文章の内容をとらえて、短い言葉で要点をまとめる。
- 文章全体の展開や筆者の考えをとらえて、ノートに整理する。また、「事実・現状」と「まとめ」については、それらに対する自分の考えを書く。〈参照：ノート(例)〉
- 本や文章を読んで考えたことを発表し合う。
※ 新聞やパンフレットなど表現するものの特徴に合わせて書き換えるなど、言語活動を工夫する。

ノート(例)

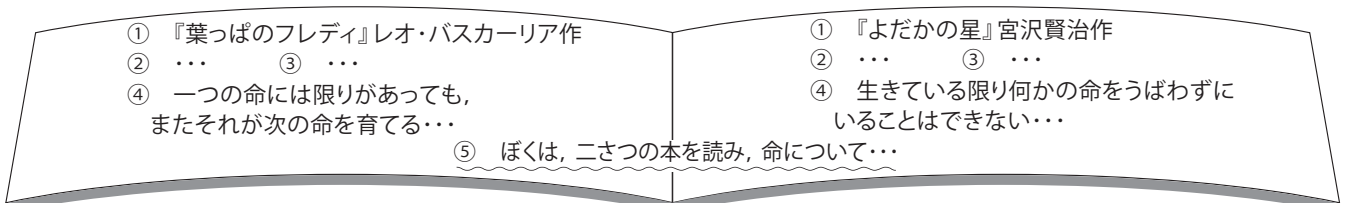


例2

テーマに即して、複数の本や文章を比べて読むなどし、考えたことをまとめて読書紹介をする

- 「友情」、「命」、「夢」などのテーマを決め、それらに関する複数の本や文章を読む。
- 読んだ本や文章について、①題名・著作者、②登場人物、③あらすじ、④感想、⑤複数の比べて上でテーマについて考えたことなどの項目に合わせ、その内容をメモに書く。

例：「命」をテーマとした読書紹介メモ



- 上記①～④については、それぞれ簡潔に述べ、⑤については、複数の本や文章を比べて読んだことによって広がったり深まったりした自分の考えをまとめて紹介する。